

請願受理番号 1

インボイス制度の廃止を求める意見書を政府に送付する
ことを求める請願

(総務委員会)

(要旨)

インボイス制度の廃止を求める意見書を政府に送付していただくこと。

(理由)

コロナ禍の影響に加え、急激な物価高騰が家計、事業経営を圧迫し、地域経済の停滞、悪化を招いています。「物価高倒産」は前年度比3.4倍（帝国データバンク4月10日）に上っています。

インボイス制度が実施されれば、消費税の免税事業者への新たな税負担や過酷な実務負担が押し付けられます。インボイス登録をしないことで契約が打ち切られるなど小規模事業者の取引排除が広がれば、地域経済はますます疲弊することになります。

影響を受けるのは小規模事業者やフリーランスだけではありません。太陽光パネルを設置している家庭や敷地に飲み物などの自動販売機を設置している家庭にもインボイス発行事業者登録に関する働きかけが行われています。

国会ではインボイス制度が実施されることで電気代が値上がりすることも明らかにされました。シルバー人材センターへの発注単価を引き上げるように政府は自治体に求めています。こうした対応は住民の負担増にもつながりかねません。

政府は161万者がインボイス制度の対象になり、2,480億円の増収になると試算しているように、インボイス制度は税率変更を伴わない消費税の増税策です。

今インボイス制度が始まれば、コロナ禍や物価高から事業の維持・再建を図ろうとしている中小事業者やフリーランスに大きな足かせとなることは火を見るより明らかです。

10月から始まるインボイス制度の廃止を求めています。

令和5年8月30日

提出者

山口市平井126番地1

山口民主商工会

会長 中野 雅美 ほか1人

紹介議員 大田 たける

紹介議員 尾上 頼子

山口市議会議長

入江 幸江 様